

数学科

使用教材：教科書、問題集

【学習の目標と学習方法】

- ・数量や図形についての知識を広げ、概念を深める。また、数理的に考察、表現する力を養う。
- ・筋道を立てて考え、見通しをもって論理的に考えたりする思考活動の中で、自ら学び自ら考える力を養う。
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、新しいことを積極的に考えたり、判断したりする姿勢を養う。

授業について * 授業は、教科書の内容を中心に進めていきます。 * 教科書、ノート、問題集は毎回必要です。また、色ペン2本、定規も毎回持ってきてください。問題集、コンパス、分度器などは必要な時に教科係から連絡されます。 * 習熟度別少人数制の授業形態でおこないます。 * 暗記が中心ではなく、なぜそうなるのか考え方や過程を大切にします。 生徒のみなさんに * 板書をノートにしっかりと写す。板書以外にも気付いたことをノートに書くとよい。 * 発言・質問、友達との学びあいを積極的におこなう。 * わからないところは、そのままにせず質問する。	家庭学習では * 学校で習ったらすぐに同じ単元の問題を解くこと。 * 授業で分からなかった問題を再度、問題集などを利用してやり直す。 * 宿題は必ずやること。 試験前はこうに取り組もう * 計算練習は毎日少しずつでもおこなうとよい。 * 一度解いた問題を、もう一度解いてみる。 * 教科書の問い、まとめの問題、章の問題はもちろん、問題集も活用し、繰り返し学習をおこなう。 * 数学の用語などは、ノートにまとめておく * 解けなかった問題や、わからない問題は先生や友達に聞いて解決しておく。	評価観点 数学への 関心・意欲・態度 数学的な見方や考え方 数学的な技能 数量や図形についての知識・理解	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。	事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方が身に付けている。	事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能が身に付けている。	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。
			評価資料 ・授業観察 (取り組み状況、グループ活動への参加の様子、発表など) ・提出物 (宿題、問題集、レポート、学習プリントなど) ・定期考査 ・小テストなど	・定期考査 ・小テスト ・授業観察	・定期考査 ・小テスト ・授業観察	・定期考査 ・小テスト ・授業観察

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1年	第1章 正負の数(25h)		第2章 文字と式(20h)	第3章 方程式	夏休み	第3章 方程式(22h)	第4章 比例と反比例(22h)	第5章 平面図形(16h)	第6章 空間図形	冬 休 み	第6章 空間図形(18h)	第7章 資料の分析と活用 (10h)	(予備時間) (7h)	標準 計140h
2年	第1章 式の計算(16h)		第2章 連立方程式(15h)	第3章 1次関数	夏休み	第3章 1次関数(20h)	第4章 平行と合同(17h)	第5章 三角形と四角形	冬 休 み	第5章 三角形と四角形 (20H)	第6章 確率(9h)	(予備時間) (8h)	標準 計105h	
3年	第1章 多項式(18h)	第2章 平方根(17h)	第3章 2次方程式 (16h)	夏休み	第3章 2次方程式	第4章 関数 $y=ax^2$ (15h)	第5章 相似な図形 (22h)	第6 章円(9h)	第7章 三平方の 定理(14h)	冬 休 み	第8章 標本調査 (5h)	3年間の総まとめ (20h)	発展的 内容(4h)	標準 計140h